



小島 智恵 議員  
(政清会)

**問**

現在運行している予約型乗合タクシーにおいて、駒島線は平成25年10月から試験運行を経て、翌年10月から本格運行しており、古舞線は平成26年7月から試験運行を経て、翌年4月から本格運行している。

高齢化の加速により、車を運転しない高齢者が増加していく中、交通弱者のための足として利用されているが、まだ改善すべき点があるのではと考え、以下伺う。

- (1) 駒島線と古舞線の利用状況。
- (2) 駒島線は幕別市街地まで、古舞線は札内市街地まで、自宅の場所によって行き先が限定されてしまいが、共に幕別・札内まで運行できないか。

**町長**

(1) 予約型乗合タクシーは運行開始以来、利用者数は年々増加していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和元年度をピークに駒島線では2年度まで、古舞線は3年度まで利用者数が減少し、それ以降は両線ともに緩やかな回復

<p><b>問</b></p> <p>予約型乗合タクシー駒島線と古舞線、共に幕別・札内まで運行を</p>	<p><b>答</b></p> <p>地域公共交通計画の中で、より利便性の高い公共交通体系の構築を目指したい</p>
--	--

傾向となっている。

駒島線は、JR幕別駅のほか、医療機関や美容室への移動が主な利用目的で、令和4年度の運行実績は、延べ利用者数518人で前年度と比べ99人増加している。

古舞線は、大型スーパーのほか医療機関や温泉への移動が主なものであり、令和4年度の運行実績は、延べ利用者数696人で前年度と比べ65人増加している。

- (2) 予約型乗合タクシーは、公共交通空白地域を解消して最寄りの公共交通機関と接続して、支線として運行するライダー系統路線に位置付けられ、居住地から最寄りの駅周辺までを運行範囲とする、国の地域公共交通確保維持改善事業の補助を受けて運行していることから、現状では、駒島線・古舞線それぞれの運行エリアを越える目的地までの運行は認められていない。

今後は、現在策定中の幕別町地域公共交通計画の中で、予約型乗合タクシーを含めた町内の移動手段を総動員した、より利便性の高い公共交通体系の構築を目指していきたい。

**再質問**

行き先である幕別・札内市街地への線引きは、どのように行われたいか。不公平感への考え方は、行政区の境界線近くに居住し、札内に行きたいが行けない場合、エリアに入れば少し柔軟に対応できないのか。

**答**

予約型乗合タクシーは、先行して駒島線が設定され、その後古舞線が設定された。補助制度上、二つのエリアを分けて設定することとなった経過がある。

線引きについては、エリアを決めている以上、どこで線引きをしても、境界線の問題は出てくると思われる。

ライダー系統路線に位置付けられているため、幕別駅に近い方は幕別駅周辺に向かう駒島線を、札内駅に近い方は札内駅前に向か

う古舞線を利用することとなる。それぞれ地図上に示して、どちらの路線が利用できるかを広報しているが、その中で、札内駅と幕別駅のどちらからも同じような距離に位置している美川、明倫、新和、豊岡2の行政区については、古舞線、駒島線、どちらも利用できるとして設定している。

住民の要望は十分理解しているが、すぐに解決できるものではないため、今の補助制度の中で、どこまで弾力的な運用ができるか協議していきたい、それができない場合は、全町1本で運行ができないかということを考えていきたい。

